

ふくろい 市議会 だより

静岡県袋井市議会



夢の舞台を目指して。「第2回どまん中カップ」

“第2回どまん中カップ”(主催:袋井西フットボールクラブ、共催:袋井スポーツ協会)が7月1日、2日に原野谷川親水公園で開催され、県内外の12チームが参加しました。ボールを追う子供達の真剣なまなざしは、当日ドイツで行われたW杯準々決勝での各国代表選手と同じ輝きを感じさせました。

No.7
2006.7.15
平成18年

まちを美しくする条例制定を可決

平成18年6月定例会は、6月6日から22日までの17日間の会期で開催されました。今定例会では、市長から提出されたまちを美しくする条例の制定、総合計画の基本構想を定めることなど10議案と議員提出の4議案、1件の報告が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、市政に対する一般質問は、13人の議員が市長の見解をいただきました。

条例の制定について

まちを美しくする条例の制定

本市の良好な環境を保全し、将来の世代に引き継いでいくために、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、環境施策を総合的かつ計画的に推進して市民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的に制定するものです。

施行期日は、条例の周知期間を要することから、本年9月1日となります。

【市の責務】…第4条要約

自らの事業活動に伴う環境への負荷の低減に率先して努めるとともに、良好な環境の保全及び創造のために必要な施策を総合的に実施するよう努めなければならない。

【市民の責務】…第5条要約

環境に関する意識を高め、日常

生活に伴う環境への負荷の低減に努めるとともに、市が実施する環境施策に協力するよう努めなければならない。また、良好な環境の保全及び創造のため、地域において協力し合い、環境保全活動に努めるものとする。

【事業者の責務】…第6条要約

事業活動を行うに当たっては、環境を破壊することのないよう自らの責任と負担において必要な措置を講ずるとともに、環境への負荷の低減に努めなければならない。

また、事業活動において自ら環境の保全に努めるとともに、市が実施する環境施策に協力するよう努めなければならない。

多くの市民が参加した第17回浅羽海岸クリーン作戦



総合計画の基本構想について

この基本構想は、市民・地域・行政が協働で取り組むまちづくりの指針として、新市になって初めて定めるものです。

平成27年度を目標年次とした今後10年間にわたる長期構想となります。

基本構想に掲げる「まちの将来像」や「まちづくりの基本目標」を実現するため、具体的な方針となる「基本計画」(前期分 平成18～22年度の5年計画)が策定され、9月定例会で報告されます。

基本構想を定める目的

旧市町の歴史や文化、これまでの発展の成果を継承するとともに、心身ともに健康な市民が、高いところさしを持ち、未来に向かって挑戦しつづけられるまちづくりを進めるため、市民の安心・安全・快適の確保はもとより、みんながともに力を発揮できるように、市民にわかりやすいまちづくりの指針を定めるものです。

まちの将来像

「人も自然も美しく 活力あふれる
日本一健康文化都市」

まちづくりの基本目標

「みんなが健康で 安心して暮らせる
住みよいまち」

「未来を拓く心ゆたかな人と
活力ある産業が支える にぎわいのまち」

「ともに支え合い 力を合わせて
地域の発展につくすまち」

特別委員会の 設置等について

市民病院の今後のあり方等に関する調査・研究を行うため、新たに「袋井市民病院問題特別委員会」を設置しました。また、これに伴い、既存の「企業立地対策」「袋井駅南地区まちづくり」2特別委員会については、委員構成を見直し、再編成しました。



市民病院

(新設) 袋井市民病院問題特別委員会 (10人)

◎佐藤 省一 ○浅田 二郎 伊豫田真雄 寺井 雄一
永田 勝美 竹原 和義 戸塚 文彦 鈴木 妙子
山本 貴史 大庭 通嘉 ◎…委員長 ○…副委員長

(再編) 企業立地対策特別委員会 (8人)

◎藤城 一英 ○村松 尚 秋田 稔 杉井 征夫
兼子 春治 田中 克周 高橋 美博 大場 正昭
◎…委員長 ○…副委員長

(再編) 袋井駅南地区まちづくり特別委員会 (8人)

◎芝田 禮一 ○高木 清隆 久野 松義 広岡 宥樹
戸塚 和 寺井紗知子 廣岡 英一 久保田龍平
◎…委員長 ○…副委員長

佐藤省二議員

人口減少社会のメリット

問 少人数学級を可能にし、女性や高齢者の就業機会が拡大するなどのメリットを総合計画にどう反映させていくのか。

答 人口減少社会の到来も視野に入れ、女性が働きやすい環境づくりの推進、高齢者が地域社会の中で経験、技能等を生かす場の確保と社会参加の促進を総合計画に反映させたい。

少子化は女性の就業形態が原因では

問 出産を機に離職した人は約半数にのぼる。支援策を望む。

答 次世代育成支援行動計画に基づき、支援の充実に取り組み組んでいる。今後は、保護者の病気時などに一週間程度児童を預かる子育て短期支援事業、一時保育を実施する保育所の整備なども進めていきたい。

空き住宅の活用

問 街のにぎわい、治安を保つために、空き家を放置してはならない。やがて地域全体が衰退する。活用を望む。

答 貴重な御意見として、今後の行政課題とさせていただく。



中央子育て支援センターのちびっこフロアー

芝田禮二議員

防災について

問 「TOUKAI 0」推進事業は啓蒙活動だけでは進まない。職員のローラー作戦で推進に回っては。

答 この事業の中心である耐震補強工事を促進する上で、一つの方法であると受けとめ、検討していきたい。

災害弱者について

問 災害弱者の安全を守るため、防災関係者と福祉関係



山科東工業団地造成予定地

者の情報交換と連携、福祉避難所の対応は十分か。

答 相互の情報交換を密にし、防災対策を推進していきたい。福祉避難所については、応援協定を締結している施設管理者と連携し、平常時から施設の利用方法の確認等を実施している。

財源確保について

問 財源確保と雇用の創出のため、企業誘致や訪問、また工業団地の対策は十分か。

答 企業誘致は、市長自身の企業訪問や県との連携を深めるなど、全力で取り組んでいきたい。工業団地については、山科東工業団地を整備し、豊沢地区や小笠山地区についての可能性調査を進めていきたい。

戸塚文彦議員

商業振興

問 中心市街地空き店舗対策事業補助金が予算計上されているが、現在、対象事業がなく、宙に浮いているように感じられる。現状は。

答 事業実施にあたっては、昨年度からの問題点を整理し、商工会議所や駅前商店街の協力をいただきながら、応募者の確保に努め、中心市街地活性化に積極的に取り組んでいきたい。



昨年、チャレンジショップ「ふくろい街のえき」を開いた店舗(左端)

ねんりんピック静岡

問 市民へのPRが全く不足していると思うが、その啓発は。

答 広報ふくろい等でもPRに努めてきたが、今後、横断幕や懸垂幕を順次設置するなど市民への啓発に積極的に努め、おもてなし精神にあふれた楽しい大会を目指していきたい。

病院経営

問 医師の安定的確保にどのように努力されているか。

答 関係機関等へ医師の派遣を強く要請するとともに、国や県に対しても根本的な解決に向け努力してもらうようお願いしている。引き続き必要な医師が確保できるように努力していきたい。

浅田二郎議員

浅羽支所について

問 四月より組織・人員とも大幅に縮小された。これまでも支所の機能を十分に果たしていず、支所らしく機能と権限を強化すべきでは。

答 行政運営の効率化を図りつつ、地域の振興や特性に応じた施策が実施しやすい体制づくりに努めたい。



浅羽支所

臨時職員について

問 何年も臨時職員ということはあり得ない。賃金や労働条件など待遇の改善を。

答 臨時職員の任用については、合併時に勤務条件を決定した。賃金は、近隣市と比較しても特に低いものではないと判断している。

就学援助について

問 就学援助受給者が、全国平均で八人に一人だが、市は二十九人に一人と極めて少ない。誰でも受けられるよう基準の明確化、民生委員の意見の廃止、制度の周知徹底を。

答 他市の状況等も踏まえ、基準となる要領等を整備したい。民生委員の意見は、適性な認定のために真に必要な場合に、直接お聴きする。制度については一層の周知に努めたい。

広岡宥樹議員

教育基本法の改定

問

現基本法は、「大日本帝国憲法」「教育勅語」が第二次大戦における多大な犠牲を招いた原因になったことへの痛切な反省に立った画期的なもので、現憲法とともに厳正に堅持されるべきものと考えerがどうか。

答

今回の改正は、現基本法の普遍的な理念は変えることなく、新たに必要なものが加わると理解している。



赤尾橋から見た小笠沢川の様子

問

袋井市の現状から、推進諸者が言うように、学力の低下、少年非行増、学校の荒れ等のマイナス現象を現基本法に八つ当たりの関係づけることができるか。

答

さまざまな要因が絡み合っているため、現基本法に直接の原因を求めることは難しいが、カバーしきれない要因が生じていることは事実である。

地域問題について

問

小野田八号線改良の残部の実行、山田川砂防堰堤、小笠沢川、法多沢川の浚渫促進の県への働きかけ強化を。

答

小野田八号線の残部は、地権者の同意、協力が得られ次第、事業化し、山田川の砂防堰堤、小笠沢川と法多沢川の浚渫は、県に対して強く要望していきたい。

村松 尚議員

総合公園について

問

袋井市(旧)総合運動公園建設予定地(村松地内)に、市民豊園を初め、市民会館、体育館、資料館・博物館等一体的に集中させ、総合公園として整備できないか。

答

現在策定を進めている総合計画の中で、それぞれの施設整備の方向性について明確にできるよう検討するとともに、適切な配置についての判断をしたい。



袋井北公民館の駐車場

駐車場不足について

問

袋井北公民館、袋井北小学校、市民体育館の駐車場不足にどう対応するのか。

答

袋井北公民館では、幼稚園の駐車場利用やJA等の駐車場をお借りし対応している。袋井北小学校は、校舎の増設とあわせ、検討したい。市民体育館は、建てかえを検討する時期であるので、当面は、現在の駐車場に対応したい。

県人会設立について

問

県人会の存在を知らしめるため、広報紙によるPR等の支援ができないか。

答

協働まちづくりセンター「ふらっと」の活用や公共施設を活用したPR、また、「広報ふくろい」を通じても紹介したい。

高橋美博議員

環境問題

問 新ごみ焼却施設完成にあわせて、ごみ分別の見直しはあるか。

答 施設の処理能力や資源の有効活用、収集及び運搬の効率性、さらには市民の作業量も考慮し、検討したい。

教育問題

問 国が実施予定の「全国的な学力調査」をどのようにとらえているか。

答

本市では、来年度より実施する計画。本調査により、一層客観的な評価を得ることができると、教員による学習指導の改善点や教育条件整備の視点が明確になることなどが期待される。子供たちの確かな学力育成のために有効活用したい。

問

中教審外国語専門部会の「小学校での英語教育必修化」の提言をどのように受け止めているか。

答

英語の必修化には、専門家や教育関係者の中でも賛否両論がある。仮に、将来的に必修化された場合は、英語のみにとらわれることなく、国語教育との関連なども踏まえながら、子供たちに豊かなコミュニケーション能力をはくむことが大切である。



新ごみ焼却施設建設地(南東方面より望む)

寺井雄二議員

クリーンセンター跡地を墓地公園に

問 中軸都市を目指している袋井市では、新しい世帯がふえている。宗派の縛りがない公設の墓地が必要ではないか。

答 クリーンセンター解体後の跡地については、墓地公園の候補地の一つであると考えている。隣接地に建設を進めている公園の完成後



平成19年度まで稼働予定のクリーンセンター

悪臭はなくなるのか

の活用状況も踏まえながら、今後、さまざまな角度から検討したい。

問 我々は、悪臭環境の被害者であってはならない。臭気指数制度をいつから取り入れるのか。また、臭気指数の設定をどのくらいとするのか。

答

現在は、特定悪臭物質の物質濃度により規制をしている。来年4月からは、人間の臭覚を用いて、においの程度を判断する臭気指数規制を導入し、悪臭への対応を図る。専門家のアドバイスや全国での規制の状況等を総合的に勘案し、指数13を考えている。指数13は、悪臭苦情が全くない状態ではないが、市民が許容する範囲であると考えている。

永田勝美議員

農業問題

問 流域森林資源の木質バイオマス構築の考えは。

答 県を中心に、県西部山間地の森林資源活用に向けた検討が進められている。本市も、構成員の一員としてこのプロジェクトに参加し、促進したい。

合併

問 県市町村合併推進審議会
の答申を受け、合併新法期



木材の残材を利用した固形燃料「木質ペレット」
(大きさは鉛筆を参考)

限に向けた県の指導が強まる
ことが予想される。合併
の再度の考えは。

答 相手の意向が第一と考え、
相手の意向が固まった後に、
議会や市民の御意見も伺い
ながら取り組む。

公園設置

問 大日一般廃棄物最終処分
場やクリーンセンター周辺
整備での公園設置は、地理
的面から明確な設置目的が
必要ではないか。

答 大日処分場周辺は、市民
の交流や健康増進を図りな
がら、子供たちの冒険心や
自然を愛する心をはぐくむ
公園となるよう計画してい
る。クリーンセンター周辺
についても、公園が担う機
能や特徴について、地元を
初め広く御意見をいただく
中で目的を明確にしよう。

竹原和義議員

放課後児童クラブに
ついて

問 合併一年後、浅羽地区各
小学校の指導員六名の一斉
辞職は、何が問題だったの
か。

答 個人的な事情によるもの
と伺っている。その後、退
職した指導員の補充のため
に新たな指導員を採用し、



浅羽地区地域審議会の様子

保育に支障のないように運
営がなされているところで
ある。

(仮称)地域交流プラザに
ついて

問 パブリックコメント制度
での地元説明会や公聴会は、
どのように計画されている
のか。

答 この施設は、公聴会を開
催する必要のある都市計画
法に定められている都市施
設には該当しないため、公
聴会の開催は計画していな
い。

しかし、これまでも南部
地域の皆様のご意見を伺う
機会として、浅羽地区地域
審議会においてご意見を伺
ってきたところである。今
後も地元説明会を開催し、
御理解いただけるよう努め
たい。

高木清隆議員

防災対策

問 避難行動への負担軽減に向け、民間施設を活用した一時避難場所の確保の考えは。

答 災害時に人的、物的な協力をしていただけの防災協力事業所の調査を進めており、地域の皆さんが安心して避難できる施設を一時避



看護師の研修会

難所として登録していききたい。

問 災害時における消防団OBの防災隊長への登用推進の考えは。

答 地域防災指導員などには、消防団経験者が活躍され、培ってきた知識や経験を生かしていただいている。今後も自主防災活動への取り組みをお願いしていきたい。

病院問題

問 患者さんの人生と亡くなられた後に残された家族皆様方の気持ち、姿をより良いものにするための、取り組みについて

答 倫理教育を初め研修会や講習会をとおして職員の資質向上を図り、より温かく、安心していただけるよう心がけたい。

伊豫田貞雄議員

市税について

問 軽自動車税納期内収納率はどうか。また、収納率向上のため、コンビニでの収納の考えは。

答 五月三十一日の納期限内収納率は76・5%となっている。コンビニでの収納については、電気料金や電話料金などの支払ができるため、今後の課題として、県内の動向や費用対効果など調



12月開局予定のケーブルテレビパンフレット

査・研究していきたい。

都市計画税について

問 合併五年度後、都市計画税を課す浅羽地区への対応について

答 市の一体性と税負担の公平化を図るため、基本方針の検討を進めているが、説明会を開催し、十分な理解と納得が得られるよう努めたい。

ケーブルテレビについて

問 ケーブルテレビ開局に向け、対象地区へのPR不足の対応はどうか。

答 事業内容が十分理解されるよう事業者に指導するとともに、市としても、誤解のないような広報、説明をしなければならぬと考えている。

戸塚 和議員

農政環境

問 「袋井市明日の水田農業を考える会」が発足したが、農業経営のあり方や転作農家への支援対策など市農政への反映は。

答 本市の水田農業のあり方、米の生産調整の助成制度、支援策等を検討するため設立された「袋井市明日の水田農業を考える会」の検討



麦刈りの様子

結果を踏まえ、農業委員会に諮問した上で、本市の目指す水田農業の方針を確立していきたい。

問 農地を集積・集団化し、農業経営安定化、大型機械利用、就農者に魅力をもたせる方向性は。

答 県下でも第三位の高い集積面積を誇っており、なお一層の農地利用集積を推進し、意欲ある担い手農業者の規模拡大を支援していきたい。

問 耕畜連携で、小麦・大豆・お茶・野菜等の堆肥利用への支援は。

答 安全・安心志向が高まる中、有機肥料の利用は消費者の関心も高く、畜産農家や耕作農家にも一層の御理解をいただき、有機肥料の活用を図るようPRしたい。

総務文教委員会のレポート

袋井市総合計画の基本構想の本文中に「地域の力」ということばが出てくる。「地域の力」を地域資源に限定したような表現としているが、「地域の力」の意味は。

地域には、それぞれの単位や大きさがありますが、地域にある産業の力を初め、自然や歴史、伝統文化などの地域資源を、基本構想の中では「地域の力」と位置づけています。

今回、浅羽中学校屋内運動場改築工事契約の業者選定において、市外の業者が入札に参加しているがなぜか。

価格が1億5千万円以上の工事は、指名競争入札で

はなく制限付き一般競争入札となります。今回は、入札参加資格として静岡県の経営事項審査結果の総合数値が800点以上の業者を対象としました。このため、袋井土木事務所管内から広く応募していただき入札しました。



改築が行われる浅羽中学校の屋内運動場敷地

民生福祉委員会のレポート

袋井市まちを美しくする条例の市民向けPRを、どのような形で行うのか。

いかに市民に周知をし、知っていただくかということが大切です。このため、イラストなどを使った



昨年、貸与された浅羽方面隊第4分団の消防ポンプ車

わかりやすいパンフレット等を作成し、PRに力を注ぐとともに、市民が環境保全に取り組むための目標、例えば、ごみ削減の目標値等もできる限りお示しします。

消防ポンプ自動車の入札が不調で、随意契約となった。随意契約とする場合の基準は。

入札が不調であった場合、基本的には、入札指名業者の入れかえをし、再入札します。本件に係る入札の指名業者は、県内の取扱業者でした。緊急を要する車輛であり、アフターサービスを考えた場合、県内業者から購入したいということで、最低入札価格者との随意契約としました。

建設経済委員会のレポート

旧市町が策定していた都市計画マスタープランの地域割は公民館単位の13地域だったが、新たなマスタープランでは5地域とするのはなぜか。

今後の都市計画を考えていく上で、一定の広域性をもたせた中でのつながりが必要と考えています。

地域資源等も考慮しながら、生活圏を重視し、関係のある地域をひとつのまとまりとし、北部、中央北、中央、中央南、南部の5地域といたしました。

今回の松橋川流域治水調査結果を地域住民に広くお知らせし、現状を把握していただくことが必要と思うかどうか。

治水対策を進めるには、地域住民の皆様のご協力が必要不可欠です。現状を認識していただけるようPRに努めるとともに、ご協力をお願いしていきたいと考えています。



現在の松橋川(にいけ工業団地西側)

意見書

出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書(要旨)

現在、出資法の上限金利は、年29.2%であり、ほとんどの貸金業者等がこの出資法の上限金利で営業している。これは、貸金業規制法のいわゆる「みなし弁済規定」により、利息制限法に定められている貸し出し上限利率(年15~20%)を上回る金利での貸し付けが容認されているからである。

厳しい経済情勢の中で、市民が安心して生活できる消費者信用市場の確立と多重債務問題の抜本的解決のため、少なくとも出資法の上限金利を利息制限法の制限金利まで引き下げる必要がある。

国においては、適正な金利規制がなされるよう、次の法改正を強く要望する。

- 1 出資法第5条の上限金利を、利息制限法第1条の制限金利まで引き下げること。
- 2 貸金業規制法第43条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること。
- 3 出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。

衆・参議院議長他あてに提出しました。

市議会定例会のライブ中継を行っています

より開かれた市議会を目指し、定例会、臨時会のライブ中継がホームページにてご覧になれます。また、市議会の各情報も提供しておりますので、ぜひご覧ください。

アドレス

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
(このアドレスは袋井市のホームページアドレスです。市のホームページの中に市議会情報があります。)

各情報

- ・市議会議員名簿
- ・市議会だより(PDF版)
- ・市議会定例会の日程
- ・本会議会議録



9月定例会のお知らせ

9月市議会定例会は次のとおり行う予定です。

場所 市役所5階議場または各委員会室

時間 午前9時から

(最終日については、午後1時30分からを予定しています。)

日程 9月 5日(火) 開会 議案の説明
11日(月) 市政に対する一般質問
12日(火) 市政に対する一般質問
13日(水) 市政に対する一般質問
14日(木) 議案の審査(常任委員会)
15日(金) 議案の審査(常任委員会)
25日(月) 委員長報告 ~ 採決 閉会

あなたも議会を傍聴してみませんか

当日、受付をしますので、市役所5階の議会事務局までお越しください。

また、議場のバリアフリー化を目指し、段差解消機及び車イス優先の傍聴スペースを設置しました。

耳の不自由な方に対しても、赤外線補聴システムを利用した3種類の補聴器(各種3個まで)を用意しております。

全国市議会議長会の表彰



去る5月24日、東京日比谷公会堂において、第82回全国市議会議長会定期総会が開催され、永年勤続議員に表彰状が贈呈されました。

本市議会では伊豫田貞雄議員が議員在職10年以上により表彰を受けました。



編集後記

6月定例会は、湿りがちな梅雨空とは対照的に、活発な議論が交わされました。

今定例会の議会活動をわかりやすく、見やすく、読みやすくを心がけ、広報委員一同で紙面をつくりました。

今後とも市民の皆様の一目でわかる紙面づくりに努力いたします。